

巻頭言

今号を作るにあたり、昨年までの年次報告を開いてみました。早いもので、私も来年で勤続 10 年目になります。卒業生の人数も 50 人を超え、良い人材が多数この研究室を巣立っています。このことは私も誇りに思い、同時に嬉しく思います。時に卒業生が訪ねてきてくれるのも大変喜ばしい事です。

卒業生の皆さんは、種々の人生経験を重ねていることでしょう。もしも苦しい局面に出会ったら、私も辛抱強く頑張っていることを思い出してください。プラス思考で考えよう、と時折言ってきたことを思い出してください。在学性の皆さんは、みずから積極的に課題に取り組んでみてください。研究室生活は人生の中では短い期間ですが、後まで残る経験になります。社会人であれ学生であれ、その時々の仕事に、熱意を持って取り組むことを勧めます。人生経験はすべて積み重なって当人の財産になります。私がこの大学に来た事も、皆さんがこの研究室に来たことも、なにかの縁でしょう。在学学生、卒業生、そして将来の学生のため、私も日々努力しています。外からはわかりにくいと思いますが、要するに研究教育とその環境作りという事に尽きます。

なお事情により今回は例年より発刊が遅れました。また限定印刷とし、原則として研究室メンバーへの配布としました。

2006 年 4 月 持田